

21世紀



学校教育目標：心豊かで たくましく生きる子どもの育成

令和6年12月24日

2学期をふり返って

🌸 9月 (運動会)

年々、夏の暑さが増すような気がしますが、今年の暑さは異常でした。9月は運動会に向けて、毎日のように全校での練習が予定されていましたが、酷暑対策のため、運動場での活動が制限され、思うように活動ができないという、厳しい状況でした。開催時期の見直しを検討する必要性を感じさせられました。



運動会

それでも、先生たちが指導方法を工夫したり、子どもたちも短い時間で集中して取り組んだりして、運動会当日の競技や演技、係などを見事に成功させることができました。

🌸 10月 (校外学習)

運動会も終わり、落ち着いて学習に取り組めるようになりました。暑さも和らぎ、校外学習や修学旅行など、いつもとは違う場所でのいろいろな人と出会い、学ぶ機会がありました。

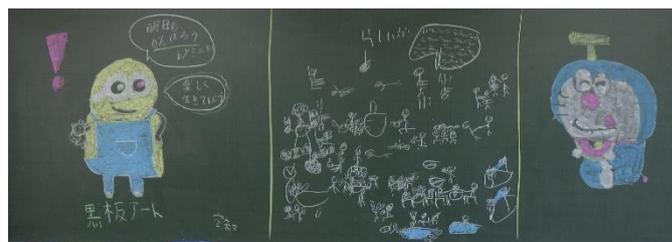
後閑小学校の児童は、「学校の外へ出ると、おとなしくなる」というのが私の印象です。騒いだり、暴れたりというような元気さは求めませんが、「誰にでも気持ちの良いあいさつをする」「質問や意見、感想を自分の言葉で伝える」といった元気さは、もっとあってほしいと思います。



修学旅行

小学校の中にいると分からないことが、外に出ると分かることがあります。校外学習や他校との交流学习は、本校の児童がどのくらい力がついているのか、どこが足りないのかを教師だけでなく児童自身が確かめることのできる良い機会です。いつもと異なる環境や人間関係の中で、自分の力を試す機会を増やしていきたいと感じました。

🌸 10月のクラブ活動紹介 (黒板アート)



裏へ続く →

❀ 11月(学習発表会)

11月は、学習発表会に向けて、全力で練習に取り組みました。始業前や休み時間を使って自主練習に励む姿から、教師も児童も本気モードといった様子でした。

少人数学級、小規模校では、劇や発表でのセリフ、合奏や合唱での音や声など、一人一人の役割が大きく、重くなります。家族や地域の方に、頑張っている姿を見てもらおうと、動きやセリフ、歌詞や楽譜を暗記するなど、子どもたちには大変な負荷がかかります。教師や友達に励まされながら、その高い山を乗り越えることで、子どもたちは大きな達成感や満足感を得ることができ、また努力や粘り強さなどの心の強さを獲得することができます。



学習発表会

学習発表会のような大きな山に限らず、日々の小さな山に向き合い、「あの時にがんばった自分、がんばれた自分」を積み重ねていくことが、子どもを成長させていくのだと思います。

教師は、その環境を作り、子どもが努力した過程を評価し、それを忘れないように思い出させ、次の山への挑戦させることで、子どもの成長を促しています。親御さんの子育てと同じです。

❀ 12月(ふりかえり)

一気に冬がやってきて、寒くなりました。みんな暖かい教室から出てこないかなと思いきや、朝の活動ではなわとび、休み時間には鬼ごっこやサッカーなどをして、子どもたちは外でも元気に過ごしています。忙しかった学習発表会から開放されて、自由に遊べるのが嬉しそうです。



長縄とび

児童朝礼で「12月は、2学期のまとめの月です。」と話をしました。「学習面、生活面ともに、学期の初めに立てた目標にどれだけ近づいたかを振り返りましょう。まだ、間に合います」と伝えました。

自分がどれくらい成長したかを確かめるには、定期的に「振り返り」が必要です。一日ごとで振り返る、一週間で振り返る、一か月で振り返る、一年で振り返る、いろいろありますが、12月は、2学期を振り返るという節目となります。運動会と学習発表会という大きな山を乗り越えて、全員が大きく成長しました。ご家庭でも、その成長をしっかり誉めて、喜んでいただけると幸いです。

❀ 「あゆみ」

終業式を終えた児童に、担任から「あゆみ(通知表)」を渡しました。2学期からは「通信欄」で児童の様子を具体的にお知らせしています。



「あゆみ」は、来学期に向けての意欲を引き出すためのものですので、まずは、△よりも○や◎に注目して、子どもの頑張りを認めていただけたらと思います。

担任は、一人一人の児童の顔を思い浮かべながら記入をしているので、△をつけるのは辛い作業となりますが、△を「目標には届かなかったけれど、これからの努力を期待しているよ、がんばろう!」という激励として子どもたちには受けとめてほしいと願っています。3学期のめあてにしたり、冬休みの家庭学習で取り組んだり、次への一步にすることが大事だと考えています。